

「ラウンドテーブル・ディスカッション実施要領」(案)

日本経営診断学会第54回全国大会では、「ラウンドテーブル(RT)・ディスカッション」を実施します。

【ラウンドテーブル・ディスカッションとは】

ラウンドテーブル・ディスカッションは、円卓を囲み、話題提供者(「発表者」、「オーガナイザー」)のテーマについて自由に意見を交換しながら議論する場である。先着順にテーブルに着席した参加者は「討論者」として自由に発言できる。しかし、議論した結果が特定の結論に至ることを目的としない。

ラウンドテーブル・ディスカッションは研究成果を報告するだけでなく、現在抱えている研究上の疑問、現場での課題、課題についての解決策などを持ち寄り、参加者全員で当該のテーマについて議論する。また、これまでの現場での体験や研究成果をもとに新たな仮説を提案し、それをもとに議論することも可。

1つのセッションは 60 分となる。各セッション1~4件の発表件数で実施。一般セッションとは、異なり、全体の半分以上の時間を討論に充てるセッションである。十分な時間をかけて話題提供者と討論者が自由に意見交換を行い、テーブルを囲む全員が同じ立場と目線で話し合う。また、議論した内容を踏まえた上で、話題提供者だけでなく、参加している方々の研究についても、改めて深く考えて、今後のご自身の研究をどのように発展させたいかを考え、その内容をグループで共有し、さらに意見や感想をやりとりする研究者の交流の場としても活用いただける。さらに、テーブルを囲む討論者以外で、周囲のオブザーバー(テーブルの周囲の聴衆)も議論に参加することも可能である。話題提供者と討論者が意見を交わしている状況に、オブザーバーが発言しても可。

なお、本大会では会場設営の都合上、円卓ではなくテーブルをロの字(四角)に配置し、椅子を10~15 脚程度準備。話題提供者も討論者もともに着席する。参加希望者が多い場合は、周りのオブザーバー用の席を利用できる。

注：会場が決定した段階で、変更する可能性がある。

【実施要領】

1. ラウンドテーブル・ディスカッションは、2テーマを予定し、話題提供者(「発表者」、「オーガナイザー」)も参加者(討論者)も、ともに着席して開始する。なお、途中の入退場は極力控えてもらう。

- ・「オーガナイザー」…セッションの企画者
- ・「司会者」…話題提供者と討議の開始と進行を支える参加者
- ・「発表者」…セッションにおける報告者
- ・「討論者」…テーブルを囲んで討論する参加者
- ・「オブザーバー」…テーブルの周囲の聴衆

注1: 「参加者」は、上記の全員、「話題提供者」は「オーガナイザー」と「発表者」の両方を指す。

注2: Webによる中継を検討中であるが、Webによる参加者は、原則として、「オブザーバー」のみとする。

2. まずは話題提供者が、研究の概要と論点についての説明を行う。セッションの時間の半分以上を討論の時間に充てるため、この説明が長くなりすぎないように気をつける。

3. 次に討論者全員が、ショートコメントをまじえた自己紹介を行う。

4. その後は、話題提供者の発表の流れに沿いながら、討論者などからのコメントをまじえ、参加者全員で意見交換を進める。意見が活発に出始め、論点が具体化したら、その流れに任せる。

5. 司会者は、第一の参加者として発言者を助け、ラウンドテーブルを囲む全員が交流できるよう、話題提供者と討議の開始と進行を支える。議論のための時間(セッションの半分以上)を確保するだけでなく、参加者に対し発言を促すようなことも状況に応じる。ただし、研究報告の主体は、話題提供者であり、討議の主体は話題提供者と討論者。司会者が進行に気を使わずとも、両者の発言が順調に進み始めたら、司会者は討議について自然の成り行きに任せる。なお、司会者は、全体の意見をまとめたり、結論づけたりすることに責任を負う必要はない。また、討論者や他の参加者と協力し、時間どおりの開始と終了を目指して時間の管理と進行を行う。

6. 今回のラウンドテーブル・ディスカッションでは、討議に加わらず、オブザーバーとして周りで見学をするだけでも可。しかし、ご自身の意見を述べるだけでも研究の交流が生まれるため、可能な限りテーブルに着席し、討議に参加する。一人でも多くの方がテーブルに着席して議論に参加すると意見交換も盛り上がるので、積極的な参加を願う。

※ 話題提供者は、テーマについて議論できるような発表用の資料(プレゼン用ファイル、配付資料等)をご準備。補足資料がある場合は 20 部程度を目安として配付資料を用意。発表には液晶プロジェクタ(VGA 方式)が利用可。PC は各自のものを用意の上、セッション開始前に接続テストを実施のこと。

注: 会場が決定した段階で、変更する可能性がある。

本要領は、通常の運営した場合のものであり、第53回と同様の開催方式となった場合には、会場、Webシステム等に応じて、適宜、変更する。

【応募方法】

ラウンドテーブル・ディスカッションを企画されたい方は、「オーガナイザー」として、テーマと概要、オーガナイザーの氏名、発表予定者を 5月21日(金)までに大会実行委員会までご連絡ください。その企画の採否を実行委員会が判断し、採択となりましたら、6月11日(金)までにE-mailで連絡いたします。

オーガナイザーは、あらかじめ予稿集原稿として、テーマと企画趣旨等を1ページにまとめたものを 7月23日(金)までに実行委員会まで提出してください。なお、個別の発表者からの予稿原稿は必ずしも提出の必要はありません。

(第54回全国大会実行委員会事務局 担当:野口正)